

## 1. 事業に取り組んだ背景

長らく日本産食品の輸入規制が続いていたインドにおいて、平成30年の両国政府の合意が行われ、一定の条件を満たした鮮魚のインド向け輸出が可能となった。これを契機に、本協議会の代表機関が中心となってインドを対象とした販路拡大を打ち出し、試験輸出やイベントの開始等の取り組みを推進してきた。



## 2. 事業の目的

本事業では、富山湾地域の関係各者の連携によって産地における加工・流通から販売段階に至るまでのバリューチェーンを構築し、他産地に先駆けてインド向けの水産物輸出を実現。現地バイヤーの訪日プロモーションや現地でのPR活動を実施するとともに、IT技術を活用した荷受・販売・海外配送のシステムを導入することで簡便かつ品質や価格等を“見える化”した商流を構築する。これによりインドにおける日本産水産物販売の安定・拡大を図る。



## 3. 協議会の構成員と役割分担

	段階	名称	事業種類・役割	具体的な取組内容
事業実施者	生産	とやま市漁業協同組合	生産 卸売市場の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生産段階における取組の実施主体</li> <li>■システム構築に対する協力</li> <li>■各種データの提供</li> </ul>
	流通加工輸出	有限会社ジェイズコーポレーション	水産小売販売 水産加工 飲食店運営 代表機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>■販売段階における取組の実施主体</li> <li>■事業全体の取りまとめ</li> </ul>
	加工流通	有限会社魚河岸	水産物仕入 貿易事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加工・流通段階における取組の実施主体</li> <li>■加工品の企画・製造</li> </ul>
	システム開発	株式会社JMFITサービス	ITシステム構築 コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>■システムに係る検討</li> <li>■プロトタイプ運用</li> <li>■現地マーケティングの実施</li> </ul>
	システム開発	株式会社エム・ソフト	ITシステム構築 ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■システムに係る検討</li> <li>■プロトタイプ運用</li> <li>■海外配送システムの実証</li> </ul>
外部委託先	調整	株式会社JTB	旅行代理店	<ul style="list-style-type: none"> <li>■インド側バイヤーの招致</li> <li>■現地視察・マーケティングに係るアテンド</li> </ul>
	調査	株式会社流通研究所	事業コンサル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■システムの導入可能性に関する調査</li> <li>■事業全体のコーディネート</li> </ul>

## 4. 取り組み内容

### ◆産地における流通を効率化するシステム構築

- ① **関係者間での連携**▶産地における流通を効率化するシステム「魚河岸システム」の構築に向け、生産者や市場関係者、買受人、加工業者間の調整を行い、**連携体制を確立**
- ② **市場関係情報をリアルタイムで共有するシステムの構築**▶その日の水揚げ情報やセリ・入札による落札価格等、市場関係の**各種情報を関係者間でリアルタイムに共有可能なシステム**を構築
- ③ **遠隔入札システムの導入**▶とやま市漁協との協力により、傘下2支所の統合に伴うホテルイカ等の遠隔入札システムをシステム会社が導入・運用を目指す

### ◆富山県産水産物のインド向け輸出販路開拓

- ① **現地マーケティングの実施**▶インド国内における**水産物の流通・消費状況を調査**。日本産水産物の輸出によるマーケット開拓の可能性を調査するとともに、輸出品目の検討等を実施
- ② **PRイベントや試験出荷の実施**▶富山県産水産物のインド向け**試験出荷を実現**するとともに、現地大使館やインド国内の日本食料理店等と連携し、試食会等**日本産水産物のPRイベントを企画・開催**

### ◆水産物の輸出に係る作業の簡略化や電子通関対応に向けた検討

- ① **輸出に関する手続きの簡略化に向けた検討**▶煩雑な手続き、通関処理を必要とするインド向け輸出に際し、電子システム活用することによって通関申告の手続きから輸出に至る**手続きを大幅に簡略化**するための検討を実施
- ② **「見える化」された物流の構築**▶IT技術を活用し、荷受・販売・海外配送を一括して管理可能なシステムを構築。簡便に利用でき、かつ**品質や価格等が「見える化」された物流を構築**
- ③ **広範な事業者の参入促進**▶通関申告の手続きを生産から一括してシステムで管理することにより、輸出に関する実務を大幅に簡便化し、結果として**多くの仲買人や加工業者が参入可能な環境を整備**

### ☆本事業のポイント☆

- ◆産地における流通を効率化するシステム構築
- ◆水産物の輸出に係る作業の簡略化と電子通関対応
- ◆富山県産水産物のインド向け輸出販路開拓